

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2016. 10. 17

下水道機構の『新技術情報』 第255号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

水つながりで豆知識。今日は上水道の日。横浜市水道局のHPによりますと、戸数わずか87戸ほどの一寒村であった横浜の人口は日増しに増加し市街は急激に発展。当時住民は水を求めて井戸を掘りましたが、横浜は海を埋め立てて拡張してきたので良質な水に恵まれず、ほとんどの井戸水は塩分を含み、飲み水には適しませんでした。

このため、神奈川県知事は英国人技師 H. S. パーマー氏を顧問として、相模川の上流に水源を求め、明治18年(1885)近代水道の建設に着手し、明治20年(1887)9月に完成、10月17日に給水が開始されたとのこと。今日は改めて、水の恵みに感謝。

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第255号をお届けします。

業務に、Tea Break にどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・「第16回下水道管更生技術施工展2016千葉」へ出展します！
- ・「下水道事業におけるPPP事業の導入について」をテーマに、下水道新技術セミナーを11/18(金)東京、11/25(金)大阪で開催します！

■機構の動き

- ・今週は、10/19(水)に第5審査証明委員会、新技術研究発表会(東京会場)を開催します

■Tea Break

- ・落語(技術評価部 まる恵からの投稿です)

■まる子のゆいまーる♪

- ・今回は、日本大学生産工学部教授の森田弘昭先生からご投稿いただきました！森田先生ありがとうございました！

■国からの情報

- ・10/14付下水道ホットインフォメーション

。○○。

●「第16回下水道管更生技術施工展 2016 千葉」へ出展します！

本展示会は、下水道管路施設の更生・修繕、防食、維持・管理、調査・診断、耐震などの工法を一堂に会し、デモ施工の実施、これらの工法に必要な関連技術や製品を実際に見ることで有効な工法の選定、知識の取得に寄与することを目的に毎年行われています。

下水道機構も後援の1団体になっており、当日はブースを設け、平成27年度に審査証明した関連技術を最新パンフレットとパネル展示により紹介しています。実際の技術の実演と併せて見ていただくと幸いです。また、相談コーナーも設けておりますのでお気軽にお立ち寄りください。

開催日： 平成28年10月20日(木) 9:30(開会式)～16:00

(順延の場合；10月27日(木))

会場： 千葉県印旛沼流域下水道花見川終末処理場内

(千葉市美浜区磯部8-24)

(最寄駅；JR総武線 新検見川駅 または、JR京葉線 検見川浜
駅下車千葉海浜交通バスで磯辺8丁目 下車(最寄バス停))

主催： (公社)日本下水道管路管理業協会(本部、関東支部)(Tel. 03-3865-3461)

事務協力： 環境新聞社(Tel. 03-5368-7250)

後援： 国土交通省関東地方整備局、千葉県、千葉市、(公財)千葉県下水道公社、
関東地方下水道協会、(公財)日本下水道新技術機構

出展者： 40社・団体程度

(うち約半数が下水道機構の審査証明事業に係っています。)

●「下水道事業におけるPPP事業の導入について」をテーマに、下水道新技術セミナーを11/18(金)東京、11/25(金)大阪で開催します！(今回の大阪会場は難波御堂筋ホールです。ご注意ください！)

地方公共団体では、執行体制の脆弱化、財政状況の逼迫、老朽化施設の増大等が進む中、下水道の機能・サービスの水準をいかに持続的に確保していくかが大きな課題となっています。

この課題に対し、多様なPPP/PFI手法の導入が解決策の一つと考えられ、これまで下水処理場の運転管理や資源利用分野等においてPPP/PFIの取組が進められてきました。

また、新たなPPP/PFI方式であるコンセッションの導入により、スケールメリットによるコストダウンを実現するとともに、地方公共団体はモニタリングやトータルマネジメント等の管理者業務に専念する取り組みも始まっています。その一方で、新たなPPP/PFI手法の導入に際しては様々な課題があることが先行事例により明らかになってきました。

そこで、今後のPPP/PFI事業の導入の参考としていただくため、下水道新技術セミナーを開催し、最新のPPP/PFI事業の情報について、有識者や国による講演、先行都

市による事例、当機構の取り組み等を紹介するセミナーを開催いたします。

※プログラム等の詳細、お申込みはこちら

<http://www.jiwet.or.jp/trainings/new-tech-seminar/seminar-info>

。○。

機構の動き（機構の行事予定です）

。○。

●日 時：平成 28 年 10 月 19 日(水) 9:00~14:00

行 事：平成 28 年度第 2-1 回第 5 審査証明委員会

場 所：愛媛県今治市

案 件：平成 28 年度新規申請案件の現場試験立会・審議

●日 時：平成 28 年 10 月 19 日(水) 13:00~16:45 (受付 12:30~)

行 事：第 22 回新技術研究発表会【東京会場】

場 所：東京都港区 発明会館

※プログラム、お申込みはこちら

⇒ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/workshop/workshop-info>

○日 時：平成 28 年 10 月 27 日(木) 13:00~16:45 (受付 12:30~)

行 事：第 22 回新技術研究発表会【大阪会場】

場 所：大阪市西区 大阪科学技術センター

※大阪会場は定員に達したため募集を締め切りました

○平成 28 年 11 月 10 日(木) 17:00~18:00

行 事：第 353 回技術サロン

場 所：機構 8 階 中会議室

ゲスト：埼玉県下水道局下水道事業課 エネルギー担当主幹 井上昌樹氏

テーマ：「埼玉県の下水道資源有効活用取組と水素事業の検討状況」

※お申込みはこちら

<http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

○日 時：平成 28 年 11 月 18 日(金) 13:00~16:45 (受付 12:30~)

行 事：第 65 回下水道新技術セミナー【東京会場】

場 所：東京都港区 発明会館

テーマ：「下水道事業における PPP 事業の導入について」

※お申し込みはこちら

<http://www.jiwet.or.jp/trainings/new-tech-seminar/seminar-info>

○日 時：平成 28 年 11 月 25 日(金) 13:00~16:45 (受付 12:30~)

行 事：第 65 回下水道新技術セミナー【大阪会場】

場 所：大阪市中央区 難波御堂筋ホール

テーマ：「下水道事業におけるPPP事業の導入について」

※お申し込みはこちら

<http://www.jiwet.or.jp/trainings/new-tech-seminar/seminar-info>

。○○。

Tea Break （機構職員の感じるまま）

。○○。

●落語（技術評価部 まる恵からの投稿です）

最近、とある人に誘われて落語を聞きに行くようになりました。

落語というものが、“一人の演者（落語家）が顔を左右に振りながら登場人物のすべてを演じ分ける古典芸能” くらいのことは知っていました。初めは正直大して期待はしていませんでしたが、行ってみて芸の奥深さに圧倒されました。

始めに感心したのは「枕」といわれる話の導入部分で、俗に「つかみ」というのか、誰でもが知っている話題を取り上げ、それを面白おかしい話に仕立てて観客を虜にする巧みな話術です。

笑いに時を忘れるまま、ネタ（本題）に入ると、見事に上（かみ）下（しも）を使い分け、口調と演技と表現力で、すべての登場人物を彷彿させて、時に笑わせ、時に情の深さに泣かせ、時に感動させ、気が付けば「話」の世界の人間ドラマにすっかり共感していました。

今まで数回行きましたが、聞いた話は「らくだ」「鼠穴」「中村仲蔵」など。聞くところによると、どれも落語家の技量が伴わないと語れない大ネタだそうで、長年通っている方も上々の出来！後代に語れるほどの内容だった、とか。通うこと数回の私には到底そこまで理解はできませんでしたが、聞いた落語家さんは俗に「立川流四天王」と呼ばれる師匠方で、知る人ぞ知る名人芸を味わえた自分の幸運を後になって知った訳です。

受け売り半分で書かせてもらえれば、そもそも落語というのはネタ・演目・題材は昔から語り継がれている話で、原則ストーリーや登場人物は同じ、あとは落語家の表現力や演技力を堪能する「芸」だそうです。

初心者の私が伝統芸能の落語を語るのはどうかな…と思いましたが、最近で一番新鮮な出来事でしたのでここに書かせて頂きました。よくよく調べると、色んな演芸場で色んな落語家さんが公演を行っていますので、敷居が高い等とは考えず、皆さん一度足を運んで「芸」を楽しんでみてはいかがでしょうか？

。○○。

まる子のゆいまーる （皆様との交流の場です）

。○○。

●今回は、日本大学生産工学部教授の森田弘昭先生からご投稿いただきました！森田先生ありがとうございました！

→ <http://www.jiwet.or.jp/publicity/yuimaru/2016-10-17>

的に、平成 25 年より「東京湾再生官民連携フォーラム」の活動の一環として開催されています。

国土交通省では、平成 14 年から東京湾再生に向けて行動計画の策定や陸域からの汚濁負荷削減等を促進してまいりましたが、これらの取組を国民の皆様に学び・触れていただく機会として、下水道広報プラットフォームや関係団体と連携し、特集ブース「下水道って驚き！～東京湾だ下水道～」を初めて出展します。

日 時：平成 28 年 10 月 22 日、23 日 10 時～17 時

場 所：横浜赤レンガ倉庫 1 号館 2 階

概 要：

- ・東京湾の水の循環の中で下水道の促進、さらに水処理から資源利用まで一連の流れを学べる「水循環」「暮らしと排水」「高度処理」「合流改善」「資源・エネルギー」「体験」の 6 つのゾーンで構成
- ・体験ゾーンでは、光学顕微鏡を使用した微生物の観察や牛乳パックを使用した工作などを実施

特集ブースの詳細は、下水道広報プラットフォームのホームページをご覧ください。

<http://www.gk-p.jp/index.html>

東京湾大感謝祭 2016 の詳細は以下ホームページをご覧ください。

<http://tbsaisei.com/fes/>

○『トイレに、愛を。フォーラム 2016』の開催について（日本トイレ研究所）

2016 年 11 月 5 日（土）、虎ノ門ヒルズにて『トイレに、愛を。フォーラム 2016』を開催いたします。今回のテーマは、魅力的な社会づくりです。

車椅子で全国を飛び回るフォトグラファーの近藤さん、個室トイレの空き状況を確認できるシステムを開発した常盤さん、消化器外科医としてゲームづくりに取り組む石井さんをお招きして、未来のトイレのあり方を展望します。

また「第 1 回 日本トイレひと賞」の発表も行いますので、ご家族ご友人をお誘い合わせの上、ぜひお越しください。

<フォーラム概要>

■日時：2016 年 11 月 5 日（土）14：30～17：30

（ワークショップに参加される方は 12：40 にご集合ください）

■会場：虎ノ門ヒルズフォーラム ホール B-1

■主催：NPO 法人日本トイレ研究所

■参加費：無料（要申込み）

※ワークショップのみの参加はできません。

また、ワークショップの詳細はフォーラムにお申込みいただいた方にお送りいたします。

▼フォーラムの詳細はこちら

<http://www.toilet.or.jp/study/forum/summary/1611052.html>

▼『日本トイレひと賞』募集中！（10/16㍻切）

<http://www.toilet.or.jp/profile/award2016.html>

=====

【参考情報】

◆稼ぐインフラ 民が変える公（下）水道点検 動画で3割短縮 21兆円市場に新発想
〈10/7 日本経済新聞〉

<http://www.nikkei.com/article/DGKKZ008111350X01C16A0TJC000/>

◆浸水予測、即座にネット配信 国交省が18年度にも 〈10/7 日本経済新聞〉

<http://www.nikkei.com/article/DGXLZ008108520W6A001C1CR8000/>

◆「雨水幹線」効果と限界 減災へ京都市地下で延伸中 〈10/10 京都新聞〉

<http://kyoto-np.co.jp/politics/article/20161010000014>

◆下水道の循環処理施設内にメガソーラー、埼玉県が売電事業 〈10/13 日経 BP ネット〉

<http://www.nikkeibp.co.jp/atcl/tk/PPP/news/101200049/?ST=buzz>

◆牛の糞尿で発電して下水処理場へ、地下水を汚さないバイオマス活用法 〈10/13
ITmedia〉

<http://www.itmedia.co.jp/smartjapan/articles/1610/13/news021.html>

◆下水処理でバイオガス発電 家庭1760世帯分 〈10/12 琉球新報〉

<http://ryukyushimpo.jp/news/entry-374136.html>

◆汚泥を竹粉で消臭 篠山東雲高が肥料学会で最高賞 〈10/12 神戸新聞〉

<https://www.kobe-np.co.jp/news/tanba/201610/0009573081.shtml>

◆帯広の台風10号浸水 9割がマンホールから噴出 〈10/10 北海道新聞〉

<http://dd.hokkaido-np.co.jp/news/area/doto/1-0325343.html>

◆水質、全体的に向上 市内52河川 下水道など普及進む 〈10/10 岩手日日新聞社〉

<http://www.iwanichi.co.jp/ichinoseki/18007.html>

◆世界的な水不足の解決へ日本の先端技術に商機はあるのか
中韓に価格競争で負けている現実 〈10/8 産経ニュース〉

<http://www.sankei.com/politics/news/161008/pl1610080004-n2.html>

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信停止はこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>

○ニューズレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20160531/>
